

# Psoria News

かけはし  
発行 大阪乾癬患者友の会(梯の会)  
編集 友の会編集委員

## 特集

## ◎第26回乾癬學習懇談会 ◎第27回乾癬學習懇談会



## ...Index...

- ・梯の会懇親会 P15
- ・第27回學習会講演 谷守先生 P17
- ・乾癬ワンポイントアドバイス P23
- ・お知らせなど P24
- ・第27回學習懇談会 P1
- ・第111回日本皮膚科学会でPR活動 P2
- ・大阪難病連に加入へP2
- ・第26回學習会講演 東山真里先生 P3

さる五月二十七日(日)に第27回學習会&総会が吹田市にある大阪大学銀杏会館で行われました。阪大銀杏会館は平成二十年に本会の10周年記念として第20回學習懇談会を行つて以来です。今回は事前に朝日新聞や神戸新聞に學習会案内記事が掲載されたこともあり、非常に多くの参加者で会場はほぼ一杯になりました。

岡田会長より挨拶の後、昨年度の事業報告、今年度の事業計画が説明されました。また会計より昨年度の決算報告、今年度予算案の提示が行われ、いずれも承認されました。



懇親会の様子 医療相談コーナーも設けられました。



会場をぎっしり埋めた参加者の皆さん

も承認されました。特に今回の総会では以前より幹事会で提案されていた大阪難病連への加入が総会でも提案されました。これについても承認されました。

医療講演としては、今回、大阪大学医学部皮膚科学教室の谷守先生より「標準的?乾癬治療アンケート」乾癬の『こころ』への影響』という演題で、また星ヶ丘厚生年金病院整形外科の辻成佳先生より「乾癬性関節炎診断と治療」という演題でお話しをして頂きました。谷先生からは乾癬の一般的な症状やその治療法を分かりやすく

く説明して頂きましたが、特に今回は標題にあるように、乾癬という皮膚疾患が患者に及ぼす心理的影響などについて、医者の立場から我々に希望を与えて頂くような話をして頂きました。患者の悩みを共有していこうという先生のお気持ちがよく伺えるお話をでした。

また辻先生は四年前にも御講演を頂きましたが、今回も「乾癬性関節炎」に話を絞つて非常に多方面からお話ををして頂きました。四年前にはまだ生物学的製剤が認可されていなかつたのですが、その後許可され、乾癬性関節炎の治療にも用いられるようになります。先生は実際生物学製剤を用いて、患者さんの方の症状はそれまでと比較してどのように改善されていったかを多くの具体的例をあげて説明して下さいました。生物学的製剤が関節炎の治療にもまた優れた実績をあげていることが大変良く分かりました。乾癬性関節炎に苦しんでいる多くの患者さんにはとても参考になる講演だったと思われます。

その後質疑応答に入りましたが、今回は初めて参加された患者さん方も大変多かったようで、いつになく質問書の提出が多く、質疑応答の時間が足りなかつたぐらいです。日頃医者に言えないような質問や悩みを如何にたくさん抱えておられるかがよくわかるようでした。

このように今回の學習会もたくさん

# 会場一杯の参加者 谷先生・辻先生が講演